

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	術前化学療法を施行した乳癌症例における Epigenetics 解析と効果予測因子、予後予測因子の検討
	研究目的	手術の前に化学療法でがんを小さくしてから切除する手術を施行した乳癌患者さんを対象として、がん細胞のヒストン修飾ならびにヒストン修飾を起こす酵素(様々な遺伝子の発現に関わっていることが知られている)の発現状況と、化学療法の効果(がんの小さくなり具合) また患者さんの予後との関連を検討する。
	研究対象者	2007 年 2 月から 2009 年 12 月までに当センターで術前化学療法を施行した患者を対象とする。対象は、包括的な研究協力の依頼に同意されている患者とする。
	研究期間	西暦 2018 年 12 月 28 日 ~ 西暦 2024 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(当センターの生体試料 <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 センターが管理する凍結組織検体)	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	山中 隆司
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	乳腺内分泌外科、病理診断科、臨床研究所
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	該当しない。